



花

開く

活力

組織・行政経営改革編
世代・分野別・政策編
世代を超えた分野別施策

広がる

笑顔



顔

政令市新潟マニラエスト



2006年10月7日

①特別職執行体制の見直し＝3人副市長制の採用（07年度から）

- 収入役は06年度途中で廃止、2人助役制に（07年度からは副市長に）
- 局長級職の廃止に伴い政策会議に替わり市長、副市長をメンバーとする新潟市経営会議を設置（07年度から）
- 各副市長は市政全般を分担して責任を持つとともにそれぞれが2-3の行政区を担当する（07年度から）
- 4選以上は不出馬を宣言（06年度11月以降）
- 新潟市経営会議に行政経営品質向上を助言する常設委員会の創設（07年度に枠組み決定・08年度から活動）

②新潟市自治基本条例の制定

- 分権型政令市の「まちづくりの憲法」ともいふべき自治基本条例を市民、議会から広く関心を持ってもらいながら早期に制定する（現在準備作業中、07年度制定を目指す）

③新潟政令市の課題解決に取り組む組織の設立

- 時期ごとに新潟政令市の課題を選定し、課題克服策を研究・提言する「まちづくりシンクタンク」の設立（07年度に設置・活動開始）

④コミュニティの自立支援と新しいコミュニティの仕組みづくり

- 新しい「公」を担う新潟モデルの検討・実践（07年度から）
- コミュニティとNPO、行政をつなぐ中間組織づくり（07年度に検討）
- 持続可能なコミュニティ活動モデルづくり（07年度から各区1地域以上目標）

⑤区単位での公募型補助金事業立ち上げ

- 従来の新潟市公募型補助金事業を行政区単位に（07年度から）

⑥新潟市の行政経営品質を改善

- 予算編成に反映させる事業評価制度の確立（07年度に試行、08年度予算から）
- 複数年度予算制度の導入（07年度に試行、08年度から拡大）
- 人事評価の確立（07年度に計画、08年度人事から実施）
- 職員適正化目標を4年間で達成
- 女性管理職（係長）登用の数値目標設定（07年度人事から）
- 区自治協議会の女性委員枠を確保（07年度から、委員改選時に拡大）

⑦市政創造運動の継続・発展

- 新潟市市政改革プラン2005を全庁で着実に実行（06年度から）
- 各区役所・各部での市民サービス目標策定（07年度内に）
- 職員自らの改善・改革運動「やるてば！にいがた」の発展（06年度から）

⑧既存事業・施設の見直し

- あまりに対象者が多くなってしまい「ばらまき」的になった就学支援を06年度から見直したように、既存の制度・事業について点検し、是正を進める（06年度から）
- 美術館や水族館など既存の文化施設についてさらに市民から喜んでもらえ、利用が増えるよう、新しいコンセプトづくりやリニューアルを検討する

⑨政令市教育委員会の土台固めと活性化

- 教育ビジョン実施計画作成・実行（07年度から）
- 市独自の教職員採用・登用基準を策定する（07年度に策定し、08年度人事から反映）
- 各世代の教員の公募（中途採用）を実施する（07年度に公募し、08年度人事から反映）
- 採用と登用試験には外部面接官を一部導入する（08年度人事から反映）
管理職の登用に当たっては女性や優秀な若手の枠を設定する（08年度から）
- F A制や自己申告制度を導入した市独自の人事評価制度を早期に確立する（07年度に評価制度検討、08年度から一部実施）
- 地域と学校の融合モデル地区の選定（07年度から各区1校以上でスタート）

花開く活力 広がる笑顔

政令市新潟マニフェスト

- 乳幼児・お父さんお母さんとのお約束
- 働きながら子育てをする皆さまとのお約束
- 小中学生・高校生・お父さんお母さんとのお約束
- より学ぶ意欲をもった学生の皆さまとのお約束
- 働く人、地域企業を支える皆さまとのお約束
- 食と花に関わる皆さまとのお約束
- 高齢者の皆さまとのお約束
- 要介護者や障害者の皆さまとのお約束

合併建設計画は、区単位で見直しながら着実に推進します。
マニフェストを進めるにあたっては、新潟市議会の議決が必要です。

世代、対象ごとの皆さまとのお約束

世代・分野別・政策編

乳幼児・お父さんお母さんとの約束



目標

保育園を利用しやすくし、お父さん、お母さんの負担感を減らします。

日本一安心して子どもを産み・育てられる新潟市と言ってもらえるよう子育て支援策を充実させます。コミュニティ協議会やNPOなどとの連携を図り、地域での子育て力をつけて親たちの子育ての孤立感を小さくする環境づくりに取り組みます。

具体策

- 認定こども園なども取り入れ、子育て施設整備を図る
- ニーズ調査をもとに保育時間の延長
- 一時保育対象園増設5カ所／休日保育の拡大
- 病時保育を各区1カ所整備
- 地域子育て支援センターを充実し、区のアンバランスを改善
- 地域での子どもたちの居場所「子育て広場」への支援
- 幼小中連携強化による一貫教育を実施するモデル地域の指定
- 完全米飯給食の早期移行
- 児童相談所の設置

条件

保育士、私立保育園への説明

4年間のスケジュール



成果指標

- 父母の負担感の低減（アンケート調査把握）
- 特殊出生率改善
- 地域子育て支援センター整備10年度までに8カ所活用実績

働きながら子育てする皆さまとの約束



目標

ひまわりクラブ待機児童ゼロを目指します。入院医療費助成を小学校3年生まで拡大します。

小学校低学年の子育て支援を強化し、安心して子どもを育てられる新潟づくりを推進します。

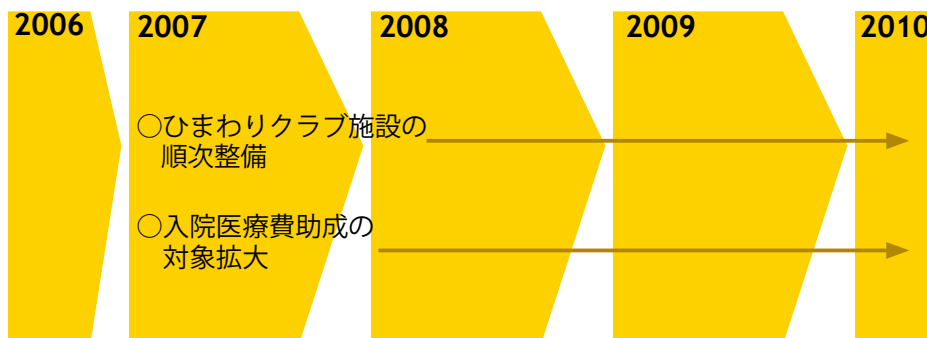
具体策

- 子どもふれあいスクールとの連携により、ひまわりクラブ待機児童ゼロを目指し、ひまわりクラブ施設の整備拡充
- 入院医療費助成を小学校3年生まで拡大し、運用

条件

父母との合意

4年間のスケジュール



成果指標

- ひまわりクラブ待機児童の減少
- 子どもふれあいスクール実施校、入院状況

目標

新潟政令市にふさわしい教育の充実を図ります。

新潟市の教育・人づくりを充実させるために策定した「市教育ビジョン」を実践し、ひとや自然を大切にする豊かな心を持ち、自分の将来の夢や目標に向かってチャレンジする子どもたちを育てます。学力・体力の向上や子どもたちの人権への配慮を充実させるとともに、いつでも、どこでも学びやすい都市づくりを推進します。

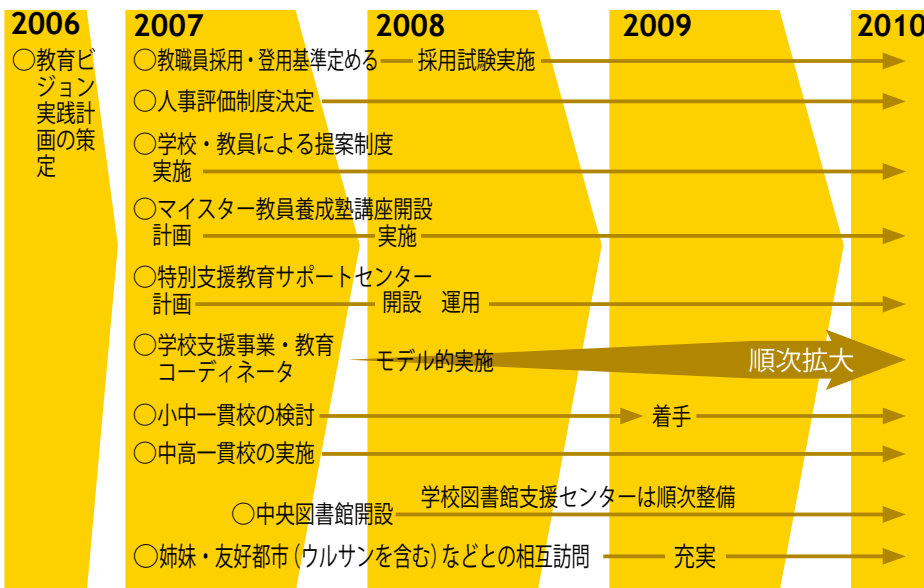
具体策

- 県と同等の人事権をもつ政令市教育委員会の能力の早期発揮、新潟政令市教育委員会の人材の早期充実
- 学校現場を改善し、教職員のやる気を引き出すため、学校や教員による提案制度を創設
- 教員の指導力向上へマイスター教員養成塾講座開設／授業の達人であるマイスター認定制度の創設
- LD(学習障害児)やADHD(多動・障害児)のための特別支援教育サポートセンターの設置
- 地域から支援される学校づくりの取り組み
(コミュニティ協議会が主体となった学校支援モデル事業の着手による学校と地域を結ぶ教育コーディネータ配置)
- 地域に開かれ、地域から支援される学校図書館を目指し、学校図書館支援センターを設置
- 姉妹、友好、交流都市などとの連携を活かし、子どもたちが異文化にふれるための国際交流・相互訪問を活発化
- 幼小中の連携強化による一貫教育のためのモデル地域を設定
- 小中一貫高の設置、中高一貫校の複数設置

条件

- 地域住民の理解と協力
- 教職員の理解と協力
- 人事評価制度などの労働組合への説明

4年間のスケジュール



成果指標

- 学力、体力の向上
- いじめ・不登校などの減少
- 父母地域からの学校評価
- 政令市教育委員会所属教職員数
- 学校支援事業数
- 小中一貫校の整備着手
- 中高一貫校の設置
- 国際交流の相互訪問児童数

小中学生・高校生・お父さんお母さんとの約束

目標

児童相談所を設置します。(18歳までが対象)

DV(配偶者への暴力)や子どもへの虐待、子育て放棄などから子どもたちを守り、子どもたちの健全育成を図ります。

具体策

- 政令市に必要な児童相談所を開設時から機能
- 民生児童委員やコミュニティ協議会の協力を得て、子どもたちを皆で守る気運醸成

条件

特になし

4年間のスケジュール



成果指標

- 子どもの相談数と救済数



小・中・高校生・お父さんお母さんとのお約束

目標

完全米飯給食の早期移行を進めます。

食育の一環として子どもたちの健康づくりのため、幼稚園・小学校の給食を早期に完全米飯給食とします。中学校の給食も米飯給食を拡大することで、生活習慣病の低年齢化や朝食を食べない習慣を改善し、正しい和食文化を新潟の子どもたちに普及させます。

具体策

- 米飯給食の良さについて認識を深めながら、地域の農業関係者の協力を仰ぎ米飯給食と地場農産物の使用拡大
- 子どもたちの食べやすい献立や完全米飯給食に必要な機材等整備

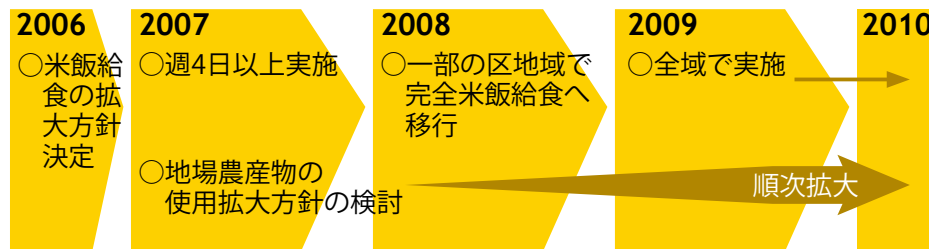
条件

地元農業者の協力

成果指標

- 子どもの健康状態の改善
- 食育効果の浸透
- 地場農産物の拡大
- 米飯給食普及率の向上
- 完全米飯給食移行校数
- 残飯量の減少

4年間のスケジュール



目標

環境教育を推進し感性豊かな子どもたちを育てます。

地域の森や水辺、里山などを活かした環境教育を実施するとともに、地域と連携して学校ビオトープや学校の森づくりを進めます。

具体策

- 環境教育モデル事業を区ごとに計画し、モデル校を設定し環境教育実施

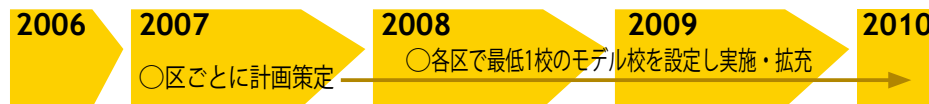
条件

地域等の協力

成果指標

- モデル事業数とその学校での子どもの変化

4年間のスケジュール



より学ぶ意欲を持った皆さまとのお約束

目標

奨学金制度を設け、いつでもどこでも学べる新潟づくりを進めます。

学ぶ意欲のある若者、スキルアップを目指す女性や社会人の皆様の就学を支援し、あわせて人材が新潟市で活躍できるよう制度を工夫します。

具体策

- 大学生、専門学校生、大学院生も含めた若者の就学支援奨学金制度の新設（検討委員会の議論をもとに、県などと相互補完する制度）
- スキルアップ、再就職を目指す女性を含めた社会人への奨学金制度の創設（検討委員会の議論をさらに発展）
- 経済情勢や起業などの基礎知識、パソコン技術の習得など再就職支援の講座の開設
- 学び得たものを新潟市で発揮できるよう多様な雇用の場の創出

条件

特になし

成果指標

- 奨学金制度の活用数と活用の仕方
- 新潟市での人材確保数

4年間のスケジュール



目標

多様な雇用の場を創出し働きがいのある新潟市にします。

政令市効果を発揮した企業・研究機関誘致や新産業の創出、既存産業の育成、起業の支援などにより、新潟市の雇用を拡大し、多様な働く場を生み出します。

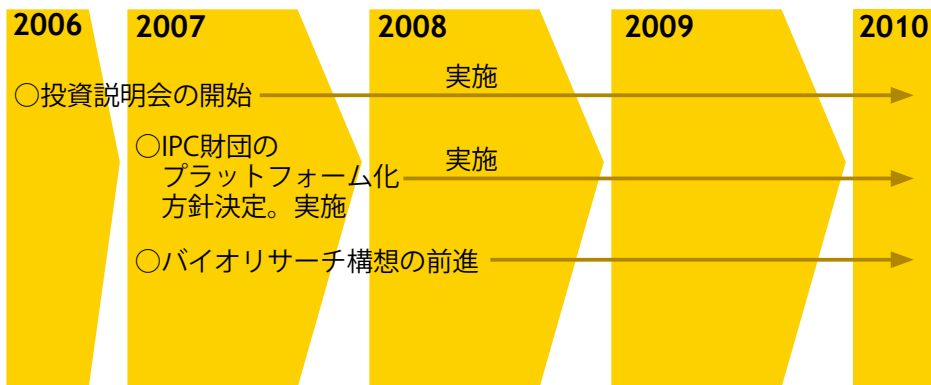
具体策

- 国内外での投資説明会の開催
- 東京事務所を拠点にした企業誘致を促進
- インダストリアルプロモーションセンター財団のプラットフォーム化により相談窓口を一本化し、やる気のある既存企業と起業意欲のある若者らを育成
- 産学官の連携を強化し、バイオリサーチパーク構想などの実現

条件

特になし

4年間のスケジュール



成果指標

- 雇用の場の拡大
07、08年度で目標28000人(05年度は25000人)
新規雇用目標7500人(05年度は6800人)
- 企業誘致は07年度10社、08年度は12社(05年度は9社)

目標

交流人口を拡大させ地域の活力を生み出します。

食と花の政令市を国内外にアピールし、誘客戦略を強化することで新潟市を訪れる観光客やコンベンション人口を増加させ、新潟市の活性化を図ります。

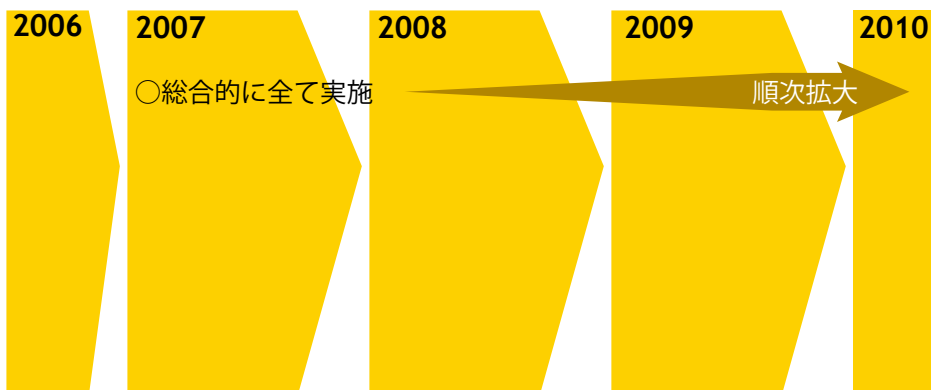
具体策

- 国内外でのシティプロモーション、コンベンション誘致・観光誘客キャンペーンの推進
- 新潟市を拠点とした県内、庄内、会津などへの広域観光ルートづくりを推進
- 北京天津事務所を活用しての中国人観光客の誘致などインバウンド(外国からの訪問)の増加に努める
- 地域や施設ごとにガイド養成など、もてなしサービスの充実を図り、インバウンド産業育成

条件

特になし

4年間のスケジュール



成果指標

- 新潟市内の宿泊数
07年度135万人
08年度138万人(05年度127万人)
- 国際コンベンション
07年度25件
08年度27件(05年度は23件)

働く人・地域企業の皆さまとのお約束



目標

農業の担い手を育成し、 農業者の自立を支援します。

経営所得安定対策への移行という農業大改革に伴い、政府支援の対象となる「担い手」と「地域営農」の対象者を増やすとともに、やる気のある農業者、いいものをつくっている農家を支援します。売れるコメづくりを推進します。

具体策

- 「担い手」「集落営農」の対象となる方への支援を国制度の2/3を市単独で支援
- JAなどと連携して一等米比率を挙げ、新潟市産コメのブランド化を目指す
- 各区ごとに直売所を整備し、農産物の地産地消・販路拡大を支援
- 各区の重点園芸名産品を決め、農協や生産法人の名産品普及運動を支援

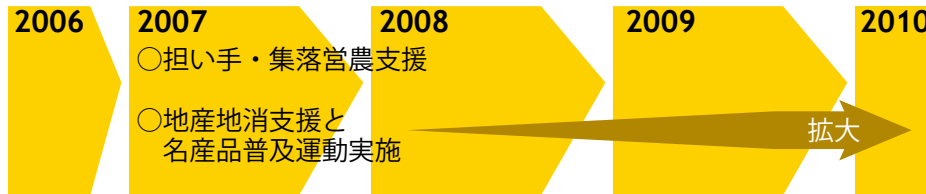
条件

地域、農家の盛り上がり

成果指標

- 「担い手」「集落営農」の支援数
- 新潟市産コメブランド化
- 直売所の販売額
- 各区の園芸名産品の指定数とブランド化状況

4年間のスケジュール



目標

万代島に「地物鮮魚と地場野菜・花の市民市場」を開設します。

市民の利便性を高め、地場の魚介類・農産物販路拡大のために開設します。市場の魅力で交流人口の拡大を図り、万代島の活性化につなげます。

具体策

- 総合卸売センター開設に伴い移転する市場関係の用地を活用し、地場物にこだわった食と花の市場を開設、大規模無料駐車場の整備

条件

土地所有者(県と)の合意

成果指標

- 09年度の市民市場の利用者数80万人

4年間のスケジュール



目標

食育は健康づくりに、花育は心の癒しに、食育・花育センターを開設します。

食育センターは新潟の素晴らしい食材を子どもたちに味わってもらい、食事を通してのしつけや地域に誇りをもつ気風の醸成を図る取り組みを推進します。花育センターは園芸センターの機能を拡充し、地元の素晴らしい花や緑を楽しむ「暮らし」を広げ、「花の政令市」を市民が実感する取り組みを推進します。

具体策

- 両センターには管理栄養士や農業技師、園芸家ら食と花の具体的な知識をもつ専門家を配置
- 両センターは「食と花のにぎわい交流センター」内に建設

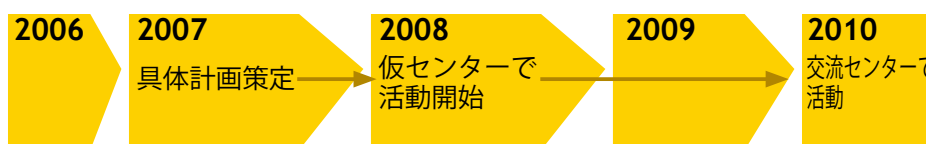
条件

市民の理解

成果指標

- 健康寿命の延伸
- 習慣生活病の割合減少
- 食育・花育センターの利用状況

4年間のスケジュール



目標

食と花のにぎわい交流センターを整備し、食と花の政令市を実感できる場をつくれます。

鳥屋野潟南部に食と花の政令市を実感できる場をつくり、地場農産物の販路の拡大をはじめ市民が地元の食と花を活用する暮らしを築くようにします。一方で万代島の市民市場との整合性を吟味しながら「食育・花育センター」機能を加えます。

食と花に関わる皆さまとの約束

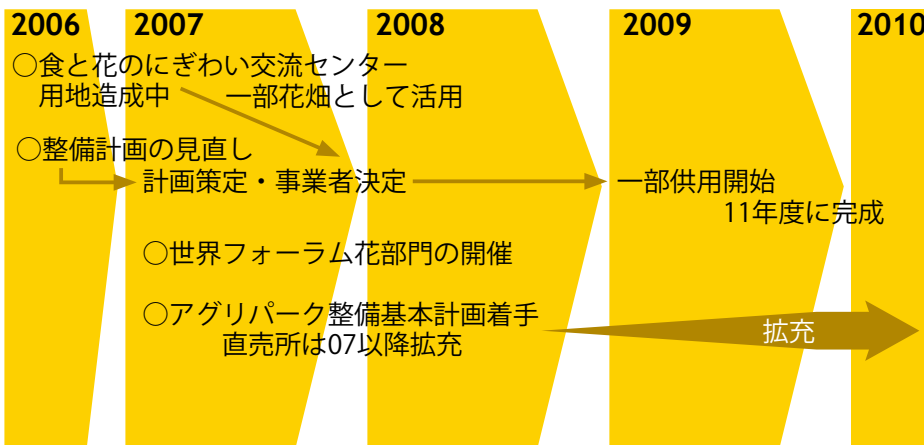
具体策

- これまでプロポーザルで練り上げてきた整備計画に「食育・花育センター」機能を加え再検討
- 民間の活力を活用した「にぎわい交流センター」は既存の直売施設と競合しない形で整備
- 花のまちづくり推進のため各区ごとにフラワーロードやフラワーゾーンを設定
- フラワーロードコンクール実施
- チューリップ花絵の拡大
- 食と花の世界フォーラムの花部門は5区で実施
- アグリパークは6区で整備
- 各地に直売所の設置推進

条件

交流センターは設置趣旨に添った民間業者の選定

4年間のスケジュール



成果指標

- 交流センター年間利用者を10年度に70万人
- 世界フォーラム動員数
- アグリパークの整備
- 直売所の整備

目標

食と農の学校「大地塾」を開設し、新潟の大地の素晴らしさを伝えます。

2007年問題といわれる団塊の世代リタイアの受け皿として、さらに大学生ら若い世代に農業や大地の素晴らしさを知ってもらうための塾を開設します。地元農業者・関係者らに講師になってもらい、農業地域の誇りを育て、首都圏などとの交流につなげていきます。

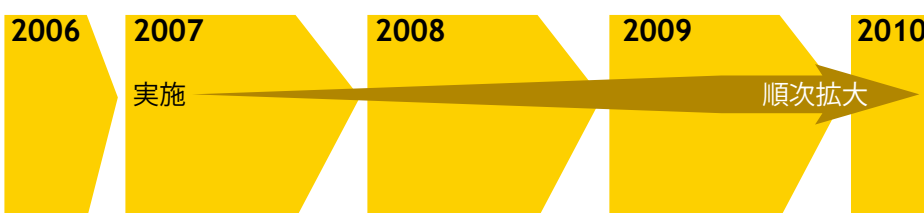
具体策

- 早稲田大学(石山研究室)の協力を得て06年度に実施した「食と農の学校・越前浜教室」の取り組みを踏まえて、複数の区で「食と農の学校」を開設

条件

地域農家と関係者の協力

4年間のスケジュール



成果指標

- 受講者数と新規就農者
- 転住者の増加





目標

**保健、医療、福祉の最先端都市づくりを推進します。
高齢者の生き甲斐づくりを推進します。**

コミュニティと行政、民間、NPO、ボランティアの協働で、高齢者や障害者をはじめ市民が生き甲斐を持ちながら、いつまでも安心して暮らせるような仕組みをつくり都市の安全度を向上させます。

高齢者の皆様の生き甲斐づくりを推進するためスポーツに親しむ機会や学校支援、地域福祉など、活躍の機会を増やします。

具体策

- 新市民病院をオープンさせ、現在の市民病院南病棟に口腔医療、歯科部門を含めた休日急患診療センターを移転充実
- 新保健所も併設して保健・医療の一体的充実を図る
- 子育て世代を含めた多様な世代層の居場所づくりに「地域の茶の間」を全域で促進
- 高齢者や障害者からも気軽にスポーツに親しみ健康づくりを進めるため「市民ウォークの日」の設定や「みんなで週1回スポーツに親しむ運動」の実施

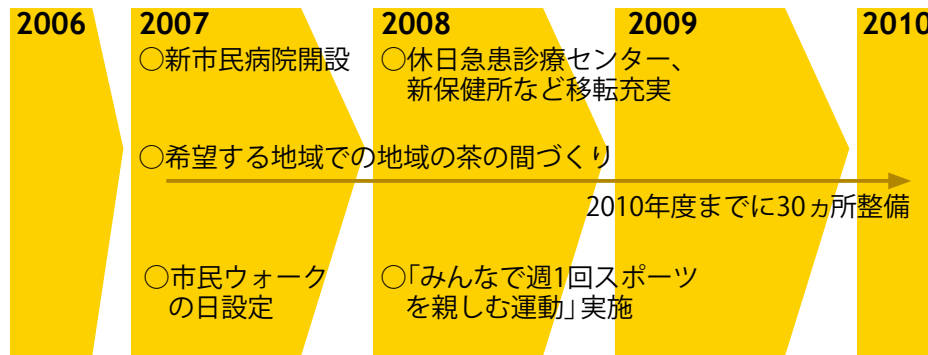
条件

- 医師会、歯科医師会、薬剤師会などの協力
- 地域の協力

成果指標

- 新市民病院・休日診療センターの利用者数、利用者の満足度（アンケート調査で把握）
- 高齢者の社会参加状況
- 「地域の茶の間」設置数と利用状況
- ウォーキングや市民スポーツの参加者増加

4年間のスケジュール



目標

障害者らが住み慣れた地域で自立した生活ができるように地域の福祉力を高めます。

「施設福祉から地域福祉へ」という国の福祉政策の転換を踏まえつつ、介護が必要な人も障害がある人も住み慣れた地域でできるだけ暮らせるよう地域の福祉力を活用しながら、特養など大規模施設の利用者とのバランスを図ります。

具体策

- 地域に小規模多機能施設やグループホームなどの整備促進
- 福祉関係者だけではなく、NPO、ボランティア、コミュニティ協議会などとの連携を強化し、福祉面での地域力を活かしたモデル事業実施
- 障害者は住み慣れた地域で自立した生活ができるように地域活動支援センターを設置し、就労の場の確保や、通所施設の支援強化

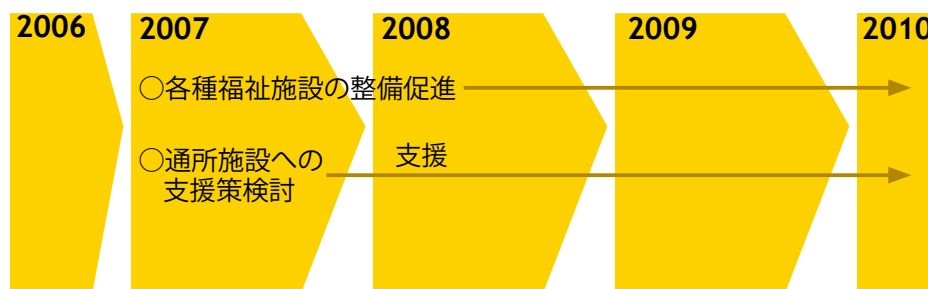
条件

- モデル事業では、NPOや地域などの協力

成果指標

- 対象者の満足度（アンケート調査で把握）
- 施設整備数
- 地域との協力体制
- 障害者の就労体制
- 通所施設への支援

4年間のスケジュール



花開く活力 広がる笑顔

政令市新潟マニフェスト

- 交通便利都市づくりと環日本海圏域の拠点性強化
 - 個性的なまちづくり
- 市民の自己実現を支援し共助のまちをつくる
 - 環境先進地に向けて
 - 誇りを持てる新潟づくり

合併建設計画は、区単位で見直しながら着実に推進します。
マニフェストを進めるにあたっては、新潟市議会の議決が必要です。

世代を超えた市民の皆さまとのお約束

世代を超えた分野別施策

交通利便都市づくりと環日本海圏域の拠点性強化

目標

乗りやすく分かりやすい新バスシステムを事業化します。

オムニバスタウン制度を活用し、乗りやすく分かりやすいバスシステムにすることで市民の利便性をアップし、マイカー依存を軽減します。
訪れた方も動きやすい都市にします。

具体策

- 基幹公共交通軸の構築 新潟駅～市役所・白山駅
新潟駅南～弁天線～ビッグスワン～新市民病院
- ICカードの導入
- 快適なバス待ちスポットの整備

条件

国交省、新潟交通との合意

成果指標

- 基幹公共交通軸におけるバス利用者増
- 他路線での急速な利用者減少の歯止め

4年間のスケジュール



目標

新潟空港のアクセスを改善します。

新潟駅から新潟空港までのアクセスを改善し、利用者増加を図ります。
短期プロジェクトを実施し、早期に利用者増加効果を出します。

具体策

- 新潟駅南口にリムジンバス駐車場を整備
- 新幹線ホームから雨に濡れることなくスムーズに移動できるよう改良
- 新潟駅連続立体交差事業の進捗状況を見ながら、新潟駅と空港を軌道系で結ぶプロジェクトを新潟県、JRと検討

条件

県、JRとの合意

成果指標

- 空港利用者の増加（供用開始1年間で前年度比較1万人増）

4年間のスケジュール



目標

幹線道路網(万代島ルート、中央環状道路)の整備を進め政令市の交通利便性を高めます。

各区のまちなか同士をつなぐ「連携型都市交通」を整備する上で最も重要な中央環状道路を早期に整備し、政令市が成熟期を迎えるときに田園都市間の交通利便性を高めます。
合併地域から母都市である旧新潟市都心部への最大アクセス道路である万代島ルート（紫竹山インター～柳都大橋～西堀～日銀支店方向）の本格整備を前進させます。

具体策

- 中央環状道路 ルート全体を早期に整備するための手法などを国と本格検討
国道8号以西は新潟市が整備
国道49号以东は県が進めてきた既存の整備計画を市が引き続き推進
- 万代島ルート 整備優先区間の早期決定に向けた国との検討本格化
(連続立体事業との関連で東新潟地区の事業化は急がれる)

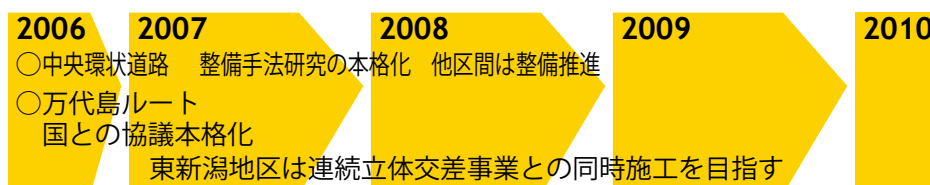
条件

国との合意

成果指標

- 両幹線道路の整備率と用地買収率

4年間のスケジュール



個性的なまちづくり

全ての市民の皆さまとの約束

目標

水と緑を活かしたまちづくりを推進します。

新潟の多様な水辺と海岸の松林を活かしながら、新潟らしい景観に配慮したまちづくりを進めます。新津丘陵の里山、角田山・多宝山を活用して、自然に親しみ、自然と調和した田園型政令市にふさわしいライフスタイルを築き、新潟の誇りとしていきます。

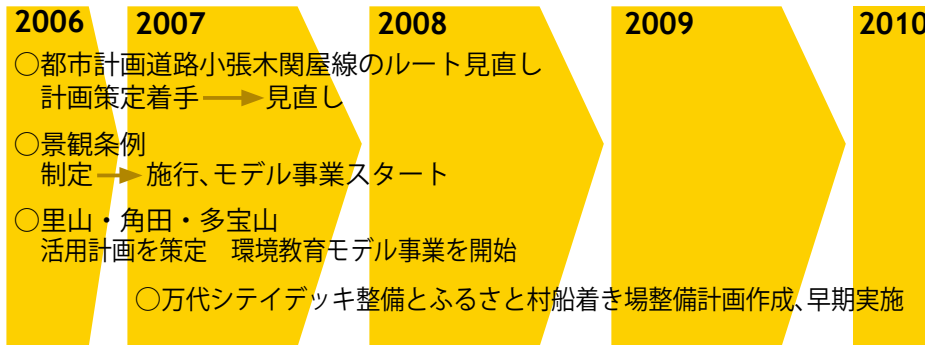
具体策

- 海岸線の松林を活用したまちづくりの促進
- 貴重な松林を伐採する都市計画道路小張木関屋線のルート見直し
- 最も新潟らしかった水辺である堀の歴史を活かした早川堀通りの整備着手
- 魅力ある景観づくりの促進のため景観法に基づく都市景観条例の早期制定
- 街並み整備協定モデル事業をスタート
- 新津丘陵の里山、角田山・多宝山の活用計画を早期策定
- 地域の水辺や緑を活かした環境教育を小中学校で推進
- 地域と連携して学校ビオトープづくり、学校の森づくりを推進
- やすらぎ堤の利用促進と万代シテイからのデッキ整備
- ふるさと村船着き場周辺の整備

条件

市民の理解と協力

4年間のスケジュール



成果指標

- 市民満足度アップ
- 環境への関心度アップ(アンケート調査)
- 松林、里山、角田、多宝山の自然環境の状況
- 環境モデル事業数
- 交流人口の拡大

市民の自己実現を支援し共助のまちをつくる

目標

コミュニティ協議会などのモデル活動を支援します。

市内全域で立ち上げが進んでいるコミュニティ協議会を支援します。コミュニティ協議会では、市民から求められる分野でモデル的な取り組みをスタートいただき、自助・共助のまちづくりを推進します。

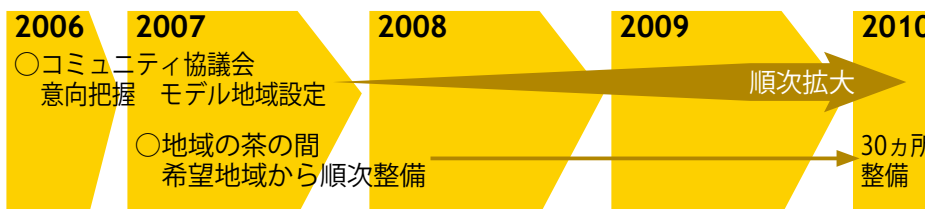
具体策

- 地域の環境整備や学校支援、防災防犯の強化、地域福祉支援、地域施設の管理運営などに取り組む意欲ある協議会にコーディネータを派遣するとともに有償ボランティアの考えで活動費を助成
- 多様な層の居場所づくりに「地域の茶の間」を全域で促進

条件

コミュニティ協議会との合意

4年間のスケジュール



成果指標

- 有益な活動例の増加



目標

男女共同参画社会の実現に向けて積極的に取り組みます。

新潟市男女共同参画推進条例の趣旨を普及させ、男女の性別に関わらず自己実現や社会参加できるまちづくりを推進します。

具体策

- 男女共同参画推進条例についてさわやか宅配便などを通じた参画条例の周知徹底
- 審議会などの女性委員比率を早期に40%に
- 市の係長比率を改善するため、07年度以降の昇格比率を女性35%以上にし、順次拡大
- 新潟政令市教育委員会の教頭職登用を08年度人事から女性35%。順次拡大し10年には40%に
- 区自治協議会の女性委員枠を確保

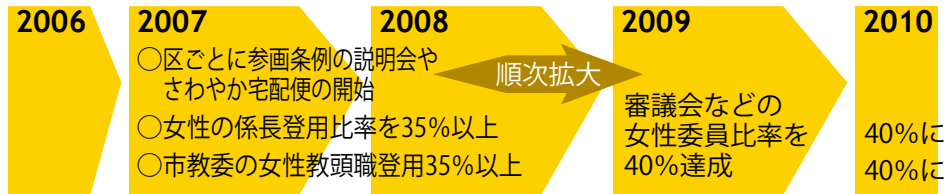
条件

- 市民への浸透・理解
- 区自治協議会の協力

成果指標

- 参画条例の説明会などの回数
- 市係長と市教委管理職の女性比率
- 区自治協議会の女性比率10年には30%以上
- 審議会や市幹部職員の女性枠を拡大することによる他への波及効果

4年間のスケジュール



目標

犯罪のおきにくいまちづくりを推進。

都市の拠点性が高まっても市民、警察、行政が一体となって犯罪発生率を抑止し、安心安全なまちを皆でつくっていきます。

具体策

- 「安心安全なまちづくり推進条例」に基づきモデル地域指定（古町・新潟駅前などの繁華街と東港周辺地域）
- 防犯灯空白地域の早期解消

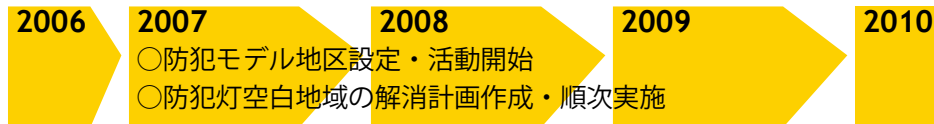
条件

- 地域、県警、行政の協力

成果指標

- モデル地区での安心度アップ
- 防犯灯空白地域の解消件数

4年間のスケジュール



環境先進地に向けて

目標

ゴミ減量など環境先進政令市に向けて取り組みます。

環境先進政令市を目指して、ゴミの減量とバイオマスの取り組みを前進させるなかで、市民に環境を大切に地球温暖化防止の一翼を担う気持ちを育てていただきます。

具体策

- 清掃審議会での審議を踏まえてゴミ減量のため、ごみ収集有料化を実施
- 収集料金の一部をコミュニティ協議会などのモデル活動支援費に充てる
- バイオマスはBDF燃料をつくる「菜の花プロジェクト」、コメ・稲わらから自動車燃料をつくるバイオエタノール新技術を開発普及する「コメ・稲わらプロジェクト」を推進

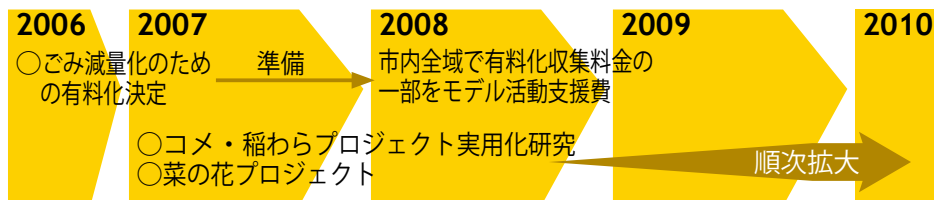
条件

- 多くの市民からの理解

成果指標

- ゴミ減量率（現在の無料化地区で20%減）
- コメ・稲わらプロジェクトの実用化
- 菜の花プロジェクト推進とBDF燃料量

4年間のスケジュール



誇りを持てる新潟づくり

目標

新市の一体感と政令市の実感づくり。

かつてない政令市をつくる気運を醸成しながら、81万新潟市としての一体感と各行政区の一体感づくりを推進し、「81万市民、みんなで創ろう、新しい新潟市」の気持ちを広げます。

具体策

- 市民から公募した政令市誕生記念事業などをしっかり実行し、政令市誕生を皆で祝う
- 民間からも政令市誕生を祝うイベントや記念事業を幅広く実施してもらい、祝宴の雰囲気盛り上げる

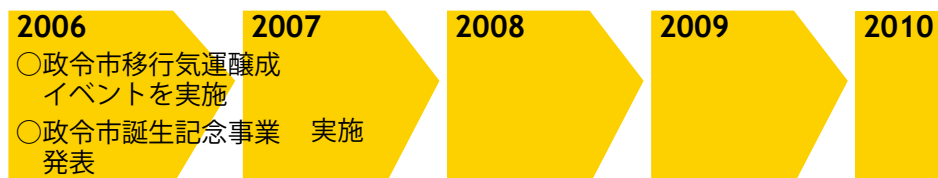
条件

多くの市民、企業、団体などから参加

成果指標

- 市民の意識高揚（アンケート）
- イベントなどへの参加数

4年間のスケジュール



目標

地域文化や歴史を掘り起こし光をあてる。

行政区ごとに地域の歴史や先人、歴史的建造物、名物料理、食材、言い伝えなど、地域の宝を掘り起こすことで、地域に暮らすことの誇りを高めます。

具体策

- 地域の魅力探訪ツアーなどを充実し、それぞれの地域の素晴らしさを市民が共有。
- 魅力ある区づくり予算を活用し、地域の宝の掘り起こし
- 地元学、地域学などの全域展開

条件

地域の方の協力

成果指標

- 地域の宝の掘り起こし数
- 市民意識の高揚
- 区の一体感（アンケート）

4年間のスケジュール



目標

新潟政令市の素晴らしさを全国・世界に伝えます。

かつてないタイプの政令市が本州日本海側に生まれたことを広く全国・世界に伝え大勢の方から新潟政令市を認知してもらいます。全国・世界の多くの方々から新潟市を訪れていただき、また市民がホスピタリティを発揮することで、市民が誇りを持てる新潟市にしていきます。

具体策

- 横浜市と共同で誘致を進めているG8（主要国首脳会議）の誘致運動を盛り上げ、横浜市との絆を強化
- 政令市長サミットを開催し、今後の政令市の可能性や課題を市民と共有
- 姉妹・友好都市、交流都市などとの連携を深め、「世界都市・にいがた」の土台を築く
- 東アジア時代の中での新潟の役割を考え、さらなる拠点化を促すフォーラム開催

条件

サミット誘致には政府の決定が必要

成果指標

- 新潟政令市の認知度アップ
- 新潟拠点化への市民の盛り上がり
- 市民の国際感覚アップ（アンケート）

4年間のスケジュール



花開く活力
政令市新潟マニラエスト
広がる笑顔

81万市民
みんなで創ろう
新しいにいがた

青空ネット2006

〒950-0962 新潟市出来島1丁目3番11号
ロイヤル千歳21・1F
TEL025-280-8808 FAX025-280-8810
<http://www.shinoda-a.jp/>
info@shinoda-a.jp